

初心者のための風景構成法入門

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:平成 29 年 7 月 1 日～平成 34 年 6 月 30 日 承認番号:W29111>

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団
 企画講師：川崎 克哲 先生(学習院大学文学部 教授)
 講座日程：全 5 回

2016年度に開催した講座内容を
 大幅にリニューアルしております!

回	開催日	講 義 内 容 (予定)	講 師 (敬称略)
1	9/27 (木)	風景構成法の実習 ：実際に風景構成法を描く実習を通して体験的に技法を理解する。	学習院大学教授 川崎 克哲
2	10/ 4 (木)	風景構成法の基礎的理論 ：箱庭療法と比較しながら、風景構成法の特徴を検討し、基礎的な理論、描画の読み方を解説する。	
3	10/11 (木)	神経症圏の風景構成法 ：主に神経症圏(不登校やチックなど)の風景構成法を取り上げ、各項目の象徴的な意味やその配置のされ方に注目して、描画の解釈の仕方を検討する	
4	10/18 (木)	非神経症圏の風景構成法 ：主に非神経症圏(精神病圏や発達障害など)の風景構成法を取り上げ、そこから読み取れる特徴、その治療可能性をどこに読んでいくかなどを検討する	
5	10/25 (木)	事例検討 ：事例を参加者から募集して発表していただき、検討していきます	

講義時間：木曜日、午後 6 時 30 分～8 時 (90 分)

受講料：10,000 円 (税込み)

定 員：45 名 (定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講対象：心理・福祉・教育の現場に携わっている方、心理・福祉・教育専攻の大学院生、およびご興味のある方

受講条件：担当講師に氏名・職種などの情報を開示すること

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室

東京都豊島区高田 3-19-10 TEL 03-3986-7021

(JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約 7 分)

風景構成法は中井久夫と河合隼雄という二人の希有な心理療法家の出会いから生まれました。それは、河合先生の箱庭療法の講演からヒントを得た中井先生が発案した非常にすぐれた心理アセスメント法でありかつ心理療法の技法です。

すぐれた心理アセスメント法や技法は、たとえばロールシャッハテストやバウムテスト、あるいは箱庭療法などたくさんありまし、新たに作成されたものも数多くあります。しかし、日本オリジナルなもので、これほど真の意味で広く使用されているものはほぼ風景構成法が唯一と言っても過言ではないかと思えます。実際、風景構成法はクリニックや教育相談所、児童相談所、学校現場などで広く実施されています。広く使用されている要因のひとつは、施行法がとてもシンプルであることでしょう。画用紙にひとつひとつ提示される項目に従って風景を描いていく。ただ、これだけです。しかし、この一見単純に見える描画のプロセスの中に、描いた人をアセスメントする、ひいては治療を促す力が含まれています。河合先生は風景構成法に関して「風景の中の山や川など、そういったものの中に日本人はたましいをみるのだと思えます。だから、風景構成法というのはとても深い表現になるのだと思えます」とコメントしています。

本講座では、まず、受講者の方々に実際に風景構成法を描いていただくという実習から始め、描画のプロセスをどのように読んでいくか、それがどのように治療に結びついているのかを具体的な事例を踏まえながら解説していきたいと思えます。

【学習院大学教授 川崎 克哲】